HONDA

News Release

2026 年 11 月 17 日

安全運転教育用「Honda ライディングシミュレーター」の試作機を初公開 ～実車感覚の操作性を追求した新型モデル、2027 年冬の発売を目指す～

Honda は、国内外の自動車教習所などで活用いただいている安全運転教育用「Honda ライディングシミュレーター」の新型モデルの試作機を、本日開催された「第 59 回 指定自動車教習所全国大会※1」で初公開しました。あわせて、この試作機をベースに 2027 年冬の発売を目指している新型モデルに関する情報をホームページで先行公開しました。

新型 Honda ライディングシミュレーター先行情報サイト：
https://global.honda/jp/safetyinfo/simulator/motorcycle/new/



新型 Honda ライディングシミュレーター（試作機）

Honda ライディングシミュレーターは、路上での実施が困難な二輪車の危険予測トレーニングを仮想空間で行える安全運転教育機器です。主に自動車教習所など向けに販売しており、二輪免許取得時の教育やライダーの再教育に活用されています。

今回初公開した試作機は、2014 年まで販売していた車体傾斜機能を備えたモデルの後継機にあたります。体験のリアリティーを追求した新たな設計思想のもと、筐体に「CB400 SUPER FOUR E-Clutch」の車体を採用することで、より実車に近い操作性を実現しています。さらに、正面に投影される走行画面のグラフィックをよりリアルにするほか、指導用機能を充実させるなど、ソフトウェアも大幅にアップデートしています。

Honda は、1970 年の安全運転普及本部設立以来、一貫して「ヒト」に焦点を当てた安全運転普及活動を行っており、その取り組みの基本となる「参加体験型の実践教育」に欠かせない重要なツールとして、ライディングシミュレーターをはじめとした安全運転教育用シミュレーター製品を提供しています。1996 年の発売以来、これらの製品を、日本国内を中心に累計で 3,000 台以上販売し、自動車教習所や官公庁、企業、病院などで活用いただいています。

Honda は、道を使う誰もが事故に遭わない社会の実現に向け、「Safety for Everyone」のグローバル安全スローガンのもと、2030 年には全世界で Honda の二輪車・四輪車が関与する交通事故死者半減※2、2050 年には交通事故死者ゼロという高い目標の達成を目指しています。今後も先進的なシミュレーターと効果の高い教育ソフトを提供し、初心運転者への教育をはじめ、幅広い層への交通安全教育に貢献していきます。

※1 全日本指定自動車教習所協会連合会（全指連）主催
※2 2020 年比で、2030 年に全世界で Honda の二輪車・四輪車が関与する 1 万台当たりの交通事故死者数を半減